

# よりそって

『愛の手で みんなで支える 住みよい地域』

小諸市民生・児童委員協議会 広報部会

## つながる私とあなた

～第4回～ がんばれ、かあちゃん

【東南部地区】

私が民生児童委員になりたての頃、ある一人暮らしのお母さんと出会いました。最初見たときは赤ずきんのおばあさんに似た風貌をしており、白髪頭で鼻が少し高くて、着ている服も長めのワンピースでした。『話しかけて大丈夫かな?』と、不安がよぎりました。

勇気を出して、『こんにちはお母さん、民生委員の関です。これからお世話になります。よろしく願います。』と話しかけました。

『はぁ、どちらさんですか?』と言われ、不安になりましたが、『冗談よ』と空気を和ませてくれ、『さぁ、あがって』と優しい言葉をかけてくれました。

それから約1年、13歳差ではありますが、親しみを込めて『かあちゃん』と呼び、ヤクルトを持って行ったり、ごみ出しのお手伝いをしています。

かあちゃんは86歳になるけれど、晴れた日には庭で草むしりをしています。昔交通事故で足を悪くしておぼつかないところがありますが、まだまだ元気に歩いています。ときどきとぼけて、『元気ですか?』と言うと、『(天国に)お迎えに来たの?』と、冗談を言ってきます。

いつまでも元気でいてね、がんばれ、かあちゃん!

緑ヶ丘区民生・児童委員 関 誠治



## 交流会は楽しいです!

谷地原地区では配偶者のいない高齢者をお招きして食事会とお茶会を開催しています。

毎回できるだけ地域の方の得意技などを披露していただき皆で楽しめるよう企画を考え、5月の食事会では区住民の草笛奏者の演奏と指導をお願いしました。草笛の優しい音色には癒されました。

7月にはハープ演奏のボランティア活動をしている13名の方たちの演奏を楽しみました。聞きなじみのある懐かしい曲は一緒に口ずさみながら身体は自然と調子をとって動き出します。

9月にはボランティアグループによる飛び出す人形劇と落語で笑いの渦に包まれました。

皆が交流し楽しい時間を持つことは「死ぬまで元気で過ごすことだと実感しています。」

谷地原区民生・児童委員  
杜下けさ子、杉田旗江



## 広報部会の自問は続く

広報部会長 清水 立夫

「民生委員はヤクルトを配る人」という、笑えない冗談を聞いたことがある。民生児童委員の改選時には「ともかく民生委員は大変だから・・・」という理由で断られ続ける。

これらの事は、果たして民生児童委員の活動が、市民の皆さんに正しく理解されているのかという疑問に突き当たる。民生児童委員の役割や活動が、どれだけ伝わっているのか？もっと有効な表現や伝え方はないのか？

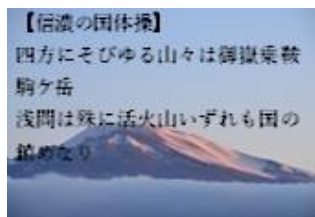
そしてこれは、きっと多くの民生児童委員が抱く悩みであり、広報部会最大の課題もここにある。「地域福祉の推進役」なんていう大仰なことではなく、地道に日々の活動を続けてゆくなかで、これらのことを自問しながら、今月も広報部会の会議に足を運ぶ。

### 民生・児童委員になって思うこと

私が久保区の民生・児童委員になり、今年度は「健康達人区らぶ」の役員を引き受け毎月開催しております。一番かんじることは、みなさんとっても生き生きとしていることです。

毎月のテーマにあわせ運動・ゲーム・うた等楽しくおこない、午前中の時間があっという間に終わります。終わりに来月の予定、テーマなどの話をします。

ある女性のかたは、毎回この日を楽しみに一人で遠くから歩いてこられます。大変じゃないですか？と声をかけると「皆さんと会えるので気になります」といわれます。一人一人が元気でいることがお互いを支えることだと思います。今後多くの方とふれあい、知恵をいただきながら支えになってゆきます。



久保区民生・児童委員

掛川 喜久雄

写真右から

土屋美枝子さん・後平区  
小林眞隆さん・三岡地区  
土屋多恵子さん・東部地区



受賞おめでとうございます。

昨年11月に、土屋多恵子さん、小林眞隆さん及び土屋美枝子さんの3名の皆さんが、長野県民生委員児童委員協議会連合会より永年勤続表彰を授与されました。10年間の委員活動お疲れ様でした。

受賞者のお一人で、後平区民生・児童委員の土屋美枝子さんにお気持ちを書きました。

『私は民生児童委員として、3期やらせていただき、1期休みましたが、再び4期目を務めています。そんな中で、以前にお聞きしたハチドリのひとしずくのお話を思い出しました。

森が火事になったとき他の生き物は我先に逃げましたが、ハチドリだけは水をひとしずくずつ運び、火の上に落とすしていきました。

そんなことしたって、どうにもならないと言われたが、いま私に出来ることをしているだけと続けました。小さな事でも誰かの喜びや励ましになったらとの思いで続けていければと思っています。』

### ◇目マークとは

聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない方・聞こえにくい方への配慮を表すマークです。

このマークを提示された場合は、相手



手が「聞こえない・聞こえにくい」ことを理解し、コミュニケーションの方法などの配慮をお願いします。